

〇5月4日(祝)開催 第2980回例会
神戸愛山協会主催行事同調
第4回みどりの日を歩こう!
「神戸開港150年記念ウオーク・兵庫津めぐり」

に参加して

再度支部 M.N

写真:布引支部 R.M

大正11年に創立し、神戸背山の愛護と毎日登山の奨励を95年間の長きにわたって行っている神戸愛山協会(11の山筋の主たる登山会で構成)が、兵庫県山岳連盟、神戸市消防局予防部、神戸市みなと総局等の協賛を得て、5月4日(祝)「第4回・みどりの日を歩こう!/神戸開港150年記念ウオーク・兵庫津めぐり」のタイトルのもとに行われました。

9時30分、集合場所となった兵庫区中之島のキャナルプロムナードは256名(チェッカー数)という、溢れんばかりの参加者で埋め尽くされました。



上:神木先生(神戸大学名誉教授)のご挨拶

下:並びに開港の解説等に聞き入る参加者



参加者には開港150年記念のロゴ入りタオルや神戸ウォーターの記念ボトル、そしてバンドエイドやメモなど、協賛者より寄贈して頂いた品物が配られました。



開港の解説等に聞き入る参加者

セレモニーは川崎愛山協会副会長(ヒヨコ登山会副会長)の司会で始まり、吉野愛山協会会長(ヒヨコ登山会会長)がご挨拶されました。

「今回の企画を推進するに当っては、平素からお世話になっている神戸市総合インフォメーションセンターの責任者でいらっしゃる潮崎孝代さんのお口添えて、昨年神戸市より文化賞を授与された神戸大学名誉教授・神木哲男先生にコース内の解説をして頂くという、願っても無い素晴らしいことになりました。」とのことでした。



大輪田泊の石椋を解説される神木先生

さて、ご挨拶の後、すぐに先生より大輪田の泊・兵庫津・神戸港と発展してきた歴史の纏めを解りやすく説明して頂いたのち、出発となりました。コース内にはNHK大河ドラマ・平清盛で

お馴染みの場所も多くありましたが、新川運河（兵庫運河へ発展）や古代大輪田泊の石椋、そして高田屋嘉兵衛本店の地跡記念碑や大輪田橋についてなど、このウォークならではの貴重な解説を聞くことが出来ました。



上：来迎寺（築島寺）前で解説される神木先生
下：高田屋嘉兵衛本店の地跡記念碑前での解説風景



又、昭和2年建造の岡方会館（岡方倶楽部）への入館も前もって許可をとって頂いていたおかげで会館内を見学することが出来、同倶楽部高田会長の楽しくユーモア溢れた説明も聞くことの出来た大変有意義な開港記念ウォークでありました。



兵庫津歴史館岡方倶楽部の高田会長による解説風景

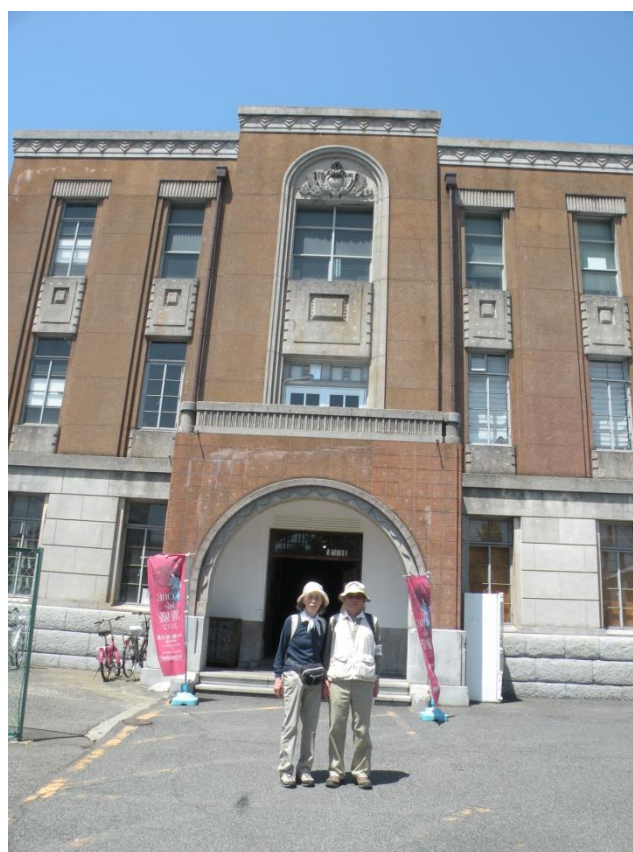
吉野会長、川崎副会長、そして、事務局・北島副会長が中心となり、愛山協会に加盟されておられる登山会の会長や幹部の皆様のゆるぎない絆と努力によってすばらしく楽しい開港150年記念ウォークであったことに心より感謝を致します。
ありがとうございました。

天候 快晴

担当 例会・自然保護委員会
神戸愛山協会加盟登山会

協賛 兵庫県山岳連盟・神戸市消防局予防部
神戸市みなと総局・吉田設計

参加者 256名（内ヒヨコ会員 140名）



岡方会館（岡方倶楽部）をバックに 流ご夫妻